

生物農薬による水稻育苗期細菌性病害の防除

福島県農業試験場 病理昆虫部
平成14年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稻－水稻－育苗－病虫害防除
分類コード 01－01－06230000

2 担当者

根本文宏・山田真孝

3 要旨

育苗期に発生する細菌性病害(籾枯細菌病、苗立枯細菌病)の新しい防除法として、生物農薬の利用技術について検討した結果、下記の知見を得た。

- (1) 供試したCABO2水和剤(商品名:モミゲンキ水和剤)は、シュードモナス属菌を有効成分とする生物農薬で、イネの根部表面での病原細菌との栄養物の奪い合いをすることで発病を抑制する。
- (2) CABO2水和剤は細菌性病害のみに有効であるが、購入種子(ヘルシードTフロアブルの吹付け済み)との体系使用が可能であるため、ばか苗病などの種子伝染性病害との同時防除が可能である。
- (3) 今回の試験では、催芽時の200倍液24時間浸漬処理および播種時の50倍液100mlの播種面灌注処理の効果が高かった。なお、播種面灌注処理は登録拡大に向けて試験中である。
- (4) 薬剤の安全性は認められているが、使用に当たっては、注意事項を遵守するとともに、必ず、指導機関の十分な指導を受ける。

4 その他の資料等

なし